

サイボウズ Office 10 ソリューション マニュアル

商標について

- 記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。また、当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。

個別の商標・著作物に関する注記については、弊社のWebサイトを参照してください。

<https://cybozu.co.jp/logotypes/other-trademark/>

なお、本文および図表中では、(TM)マーク、(R)マークは明記していません。

目次

1 章 ソリューション	4
1.1. ネット連携サービス	4
1.2. デザインギャラリー	11

1 章 ソリューション

1.1. ネット連携サービス

ネット連携サービスは、サイボウズ株式会社がインターネット上で提供するサービスです。
[利用規約](#)をご確認いただき、同意された上でご利用ください。

注意

- ネット連携サービスを利用するには、継続サービスライセンスが必要です。
- ネット連携サービスを利用するには、クライアントパソコンがインターネットに接続されている必要があります。インターネットに接続できない場合は、ネット連携サービスを利用できません。
- ネット連携サービスの情報は、1時間ごとに更新されます。
- サイボウズ Office 10の画面を長時間更新しないままネット連携サービスにアクセスすると、エラー画面が表示される場合があります。サイボウズ Office 10の画面を最新の情報に更新してから、ネット連携サービスにアクセスしてください。

ネット連携サービスを利用できるアプリケーションは次のとおりです。

- スケジュール
ネット連携サービスを利用して、六曜や天気予報データを表示させることができます。
- アドレス帳
ネット連携サービスの路線検索を利用して、会社情報に、路線検索の結果を取り込むことができます。
- ワークフロー
路線ナビ連携の項目で、ネット連携サービスの路線検索を利用できます。

六曜や天気予報データの取得

スケジュールに、六曜や天気予報のデータを表示するには、ネット連携サービスからデータを取得する必要があります。

1. システム管理者に、ネット連携サービスの設定が有効になっていることを確認します。

詳細は、[ネット連携サービスの有効化](#)を参照してください。

2. システム管理者に、六曜のデータを取り込んでいるかどうかを確認します。

詳細は、[六曜や天気予報の表示の有効化](#)を参照してください。

3. ユーザーの個人設定で、表示する六曜の年や天気予報を表示する地域を選択します。

詳細は、[六曜や天気予報の表示](#)を参照してください。

路線検索

路線検索の使いかたを説明します。

1. アドレス帳またはワークフローで、路線を検索 をクリックします。

2. 必要に応じて定期区間を登録します。

定期区間を登録する必要がない場合は、手順3に進んでください。

定期区間を登録しておく、ユーザーが利用している定期区間を除いた料金で検索できます。

定期区間はWebブラウザのローカルストレージに保存されます。Webブラウザのローカルストレージを使用する設定にしていない場合は、定期区間を保存できません。定期区間を登録できない場合は、お使いのWebブラウザの設定を確認してください。

ローカルストレージのデータを削除すると、登録した定期区間も削除されます。定期区間

が削除された場合は、再度登録してください。

定期区間を登録する手順は、次のとおりです。

1. **定期区間を登録** をクリックします。

出発駅 **必須** 到着駅 **必須**

→ ☐ 往復料金

定期区間

定期区間を登録 定期区間を登録すると、定期を使った運賃が検索できます。

検索オプション ▼

検索

2. 出発駅と到着駅を入力します。
出発駅と到着駅は必ず入力してください。
3. 必要に応じて、**検索オプション** をクリックし、利用日を指定します。初期値は今日の日付です。カレンダーアイコンをクリックすると、カレンダーから日付を選択できます。
4. 検索条件を確認し、**検索** をクリックします。
5. 定期区間として登録したい検索結果で、**定期区間に登録** をクリックします。

[< 路線検索に戻る](#)

出発駅 必須 到着駅 必須

川崎 → 東京

[検索オプション](#) [^](#)

利用日 2017-08-15 

検索

検索結果

1	川崎 - 東海道本線 (東日本) - 東京	定期区間に登録
2	川崎 - 京浜東北線 - 東京	定期区間に登録
3	京急川崎 - 京急本線 - 品川 - 山手線 - 東京	定期区間に登録

[定期区間を削除]をクリックすると、登録した定期区間を削除できます。

出発駅 必須 到着駅 必須

→ ☐ 往復料金

定期区間

川崎 - 東海道本線 (東日本) - 東京

☒ 定期区間の運賃を除外する

[検索オプション](#) [v](#)

検索

✕ 定期区間を削除

3. 出発駅と到着駅を入力します。

出発駅と到着駅は必ず入力してください。

「往復料金」のチェックボックスを選択すると、往復料金を検索します。チェックボックスが選択されていない場合は、片道料金で検索されます。

4. 定期区間を除いた料金を検索する場合は、「定期区間の運賃を除外する」のチェックボックスを選択します。

5. [検索オプション](#) をクリックし、利用日、運賃種別、および交通手段を選択します。

検索オプションの項目は、次のとおりです。

- 利用日：

初期値は今日の日付です。カレンダーアイコンをクリックすると、カレンダーから日付を選択できます。

- 運賃種別：

ICカードを利用するのか、切符を利用するのか、どちらかを選択します。初期値は「ICカード利用」です。

- 交通手段：

次のオプションを選択できます。利用するオプションのチェックボックスを選択してください。初期値は両方のチェックボックスが選択されています。

- 飛行機利用
- 有料特急利用

出発駅 必須	到着駅 必須
<input type="text" value="日本橋（東京）"/>	→ <input type="text" value="大阪"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 往復料金	
定期区間	
川崎 – 東海道本線（東日本） – 東京	✕ 定期区間を削除
<input checked="" type="checkbox"/> 定期区間の運賃を除外する	
検索オプション ^	
利用日	<input type="text" value="2017-09-01"/> 
運賃種別	<input checked="" type="radio"/> ICカード利用 <input type="radio"/> 切符利用 交通手段 <input checked="" type="checkbox"/> 飛行機利用 <input checked="" type="checkbox"/> 有料特急利用
<div>検索</div>	

6. 検索条件を確認し、検索 をクリックします。

7. 検索結果を確認します。

開くアイコン ▼ をクリックすると、路線ごとの詳細情報が表示されます。

閉じるアイコン ^ をクリックすると詳細情報を非表示にします。

検索結果

1

料金 IC 片道**14,615**円 時間 **197**分 乗り換え**3**回 取り込む 往復 **29,230**円

日本橋 - 東京メトロ東西線 - 大手町 - 徒歩 - 東京 - 新幹線のぞみ - 新大阪 - 東海道・山陽本線 - 大阪

2

料金 IC 片道**14,615**円 時間 **198**分 乗り換え**3**回 取り込む 往復 **29,230**円

日本橋 - 東京メトロ銀座線 - 新橋 - 山手線 - 品川 - 新幹線のぞみ - 新大阪 - 東海道・山陽本線 - 大阪

料金 片道**14,615**円 乗車 **163**分 徒歩 **0**分 その他 **35**分 距離 **556.8**km

- 日本橋
 - 5分 東京メトロ銀座線 IC 片道**165**円
- 新橋
 - 7分 山手線 切符 片道**8,750**円
- 品川
 - 146分 新幹線のぞみ ↓ 特別料金**5,700**円
- 新大阪
 - 5分 東海道・山陽本線 ↓
- 大阪

8. 取り込みたい検索結果で、 取り込む をクリックします。

1.2. デザインギャラリー

デザインギャラリーは、サイボウズ Office 10に新しいデザインを追加するツールです。
バージョン 10.8.0以降には、最新のデザインギャラリーがインストールされています。
デザインを変更する場合は、個人設定で操作します。
詳細は、[画面デザインの変更](#)を参照してください。

© Cybozu